

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第100

nanae historical
museum collection



ななえ古写真物語

VOL. 100

農ある景色

七重官園牛耕ノ景

明治10年頃

鳴川地区か？

ななえという町は、海を持たない町である。横津連山によって育まれた豊富な湧水により、ダムを持たなくとも良いほど水に恵まれ、南から西側にかけて斜面となる立地は、農業に適しているのだろう。今時期の畑ではビニールが貼られ、根菜類の栽培が始まる。町中を走っていると畑では、ビニールの支柱をさす人々が点々とみられ、また果樹園では、リンゴの剪定を終え集められた枝が、小さな山となって積まれている。少し前の時期だと、まだ雪原となっている畑に黒い融雪剤が散かれ、それを眺め私たちは春が近いことを知る。

つくづく、七飯町は農ある景色にあふれている。農業は季節の移ろいにあわせ作業が進むので、知らず知らずのうちに、そういった姿を見ている私たちは、無意識のうちに四季を感じさせられているのだ。

約500年前から和人の入植がはじまり、少しずつ村を形成してきた七飯町。当時の人々は畑仕事と山仕事を生業としながら暮らしてきた。そして、140年ほど前に日本で初めて西洋の農器械を使用した近代農業が普及した町でもある。今も昔もななえという町は、農ある暮らしがあったのだ。

日本における近代農業発祥の地、そして西洋リンゴ栽培発祥の地など、どこの町よりも先んじて新たな技術を導入した歴史は、古写真にも多く残されている。その一枚が七重官園における「牛耕ノ景」すなわち上の写真である。

プラウをひく牛たち、その向こう側には牛馬の進出入を防ぐための牧柵。帽子にベスト姿というモダンな出で立ちで農作業に従事する官園職員たち。明治政府が殖産興業を掲げる中、北海道開拓にとって重要な場所に官営の農場を設置した。そのひとつが七重官園であり、全国4か所ある官園の中で最も実験的要素が強かった。記録のために撮られた写真は後に写真帖となり、往時の様子を伝える資料として当館にも保管されている。

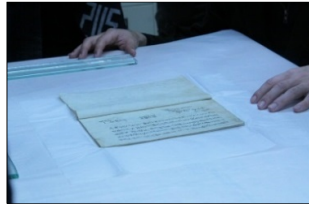
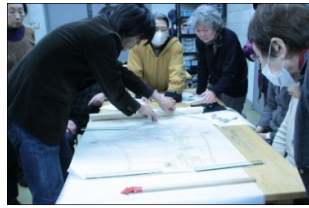
現在、田畑には牛馬の姿は失われ、トラクターが走る景色へと変わったが、農ある景色には必ず人の姿があるという点では変わらない。両足でしっかり大地を踏みしめ、日差しを受け生業とすることは、都市部に生きる者が忘れてしまった感覚なのかもしれない。

七飯町の基幹産業は農業と観光業という。しかしながら、根幹にあるのは「農」とであると、季節を積み重ねるごとに強く思う。

2日

夜の博物館後期講座の締めくくりは「ななえの千人同心」です。江戸時代に2度にわたって七飯町へ移住してきた八王子千人同心たち。彼らの苦難と決断について、古文書や古地図そして箱館戦争従軍名簿を見てもらいながら学芸員が解説しました。

町の歴史を紐解くとき、教科書に載らない人達がした決断から何を学ぶのかを少しでも多くの方に考えていただく機会になったのであれば幸いです。



13日

雪ちらつく中、冬の探鳥会を開催しました。国際セミナーハウスやセバット、大沼駅近くの観察小屋などを移動しながら、大型猛禽類を探しましたが、今年はオジロワシの幼鳥のみ。それでも白鳥の黒と黄色のクチバシは個体差があり識別に用いられるとか、白黒模様のコクマルガラスが、この時期見られるなど興味深い話も、終盤にはかわいいシマエナガも観察できました。

19日

今年度最後のジュニア探検クラブは文集づくりと閉講式で締めくくりました。まずは学芸員から紙の歴史と和綴じ本と洋綴じ本の違いを教わります。糸で閉じてある本や和紙の質感をどう感じたでしょうか。さて、いろいろな道具を使って格闘した文集づくりが終わったあとは閉講式です。緊張した面持ちの中、一人ずつに終了証が手渡され、友の会会長からは、はなむけに歌のプレゼントもありました。一年を通して子供達と関わり、成長していく様子を近くで感じることは、私たち職員にとっても良い経験となりました。



5月の予定

| | | |
|----|---|-----------|
| 1 | 日 | パネル展開催中 |
| 2 | 月 | |
| 3 | 火 | 憲法記念日 |
| 4 | 水 | みどりの日 |
| 5 | 木 | こどもの日 |
| 6 | 金 | |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | 春の探鳥会 |
| 9 | 月 | |
| 10 | 火 | |
| 11 | 水 | |
| 12 | 木 | |
| 13 | 金 | |
| 14 | 土 | |
| 15 | 日 | |
| 16 | 月 | |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | |
| 19 | 木 | |
| 20 | 金 | |
| 21 | 土 | |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | |
| 24 | 火 | |
| 25 | 水 | |
| 26 | 木 | |
| 27 | 金 | |
| 28 | 土 | ジュニア探検クラブ |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | |
| 31 | 火 | |

5月の休館日はありません。

パネル展が始まります！

この紙面で紹介してきた古写真をご覧になれる「ななえ古写真物語part2」が始まりました。6/12まで開催しますので、是非ご来館下さい。



編集後記 ~tawagoto~

日々、追われるような仕事をこなしながら、時には苦悩し、時には勢いに任せて書き綴った「ピチャリ」もお陰様で100号となりました。お付き合い頂いている読者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。ひとまず、大きな節目を越えることが出来て安堵しておりますが、続けることで当館や七飯町について、多くの方に発信できるはず...と信じておりますので、引き続き応援を頂きたく、この場を借りてお願いいたします。(やまだひさし)

~ピチャリ~
Richard 第100号

平成28年4月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp